

● 通信総合研究所の戦略的な広報活動に向けた検討会議を設置 ～外部有識者を迎え、本格的な広報活動強化へ乗り出す～

● 平成14年3月12日

独立行政法人通信総合研究所(以下CRL、理事長:飯田尚志)は、本年3月13日(水)に、戦略的な広報活動に向けて「CRL広報戦略懇談会(仮称)」を設置いたします。CRLは昨年4月の独立行政法人化で、一層求められている研究成果の国民への周知・広報を重要な研究活動の一環と位置付け、広く戦略的に実施するためにこれまで国の研究機関では、ほとんど例が見られなかった新たな試みとしてこの懇談会を設置いたします。

懇談会には外部の有識者6人を委員に迎え、情報通信分野における我が国の中核的な研究機関としてCRLの使命や貢献領域を踏まえ、戦略的な広報活動についての議論をおこないます。

【背景】

CRLは、昨年4月に総務省から「独立行政法人」として新たに発足いたしました。独立行政法人制度では、法人の自主性・自律性が高まったことから、研究活動およびその成果について、国民に対する一層の説明責任を負うことになりました。また、情報通信が国民生活に大きな役割を果たしている現在、CRLは情報通信分野における我が国の中核的な研究機関として、研究成果の普及をこれまで以上に実施していくことが求められています。このようなことからCRLでは広報の重要性がよりいっそう増してきており、戦略的かつ効果的な広報活動を行うことが喫緊の課題になってまいりました。

【内容】

そこでこのたび、CRLに外部の有識者からなる標記懇談会を設置し、CRLの広報の戦略的な活動に向けて客観的かつ幅広い視点で自由にディスカッションいただき、今後の広報活動に反映させていくこととしました。委員には、学識経験者、ジャーナリスト、広報や教育の専門家、マスコミといったより幅広い分野からオピニオンリーダーとして参画いただきます。(委員は別紙参照)

【今後の展開】

CRLは、今回のような外部の有識者を含めた広報戦略立案は初めての試みであり、より国民にわかりやすく「攻めの広報」を積極的に展開していくことへの決意表明でもあります。本懇談会において今年5月ごろまでに広報戦略を策定し、今後、情報通信分野はもちろんのこと、それ以外の分野の人々にもCRLのミッション、業務を広く周知し、国民の情報通信分野への関心を高めていけるような広報活動を展開していく予定です。

【お問い合わせ先】

独立行政法人通信総合研究所
企画部広報室 吉本、大野
企画部企画室 白井
TEL:042-327-6683

<別紙>

【委員】

的川泰宣(文部科学省 宇宙科学研究所教授)
山根一真(ノンフィクション作家、宇宙開発事業団広報アドバイザー)
高柳雄一(文部科学省 高エネルギー加速器研究機構 広報室長)
宮崎總一(財団法人 日本宇宙少年団理事兼副本部長、全国中学校理科教育研究会顧問)
上野征洋(静岡文化芸術大学文化政策学部 文化政策学科長、日本広報学会常任理事)
田中里沙(月刊『宣伝会議』編集長)